

第4学年 外国語活動学習指導案

1 単元名 「Unit 6 Alphabet」 (Let's Try! 2) ～アルファベットファミリーを作ろう パート2～

2 単元の目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字とその読みに慣れ親しもうとする。
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。
- ・相手に配慮しながらアルファベットの文字について伝え合おうとする。

3 言語材料

Look./What's this?/Hint, please./How many ...?/I have... Do you have...?/Yes, I do./No, I don't./That's right./Sorry./Try again./小文字 a ~ z/Bookstore/juice/news/school station/taxi/police/telephone/hospital/ice cream/What do you want?/koban/gas station/sale/bus stop/on/off/game/supermarket/one way/popcorn/library/coffee shop/closed/stop /flowers/post/I want ... thank you.

4 単元の評価規準

観点 領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>ア アルファベットが発音されるのを聞いて、どの文字であるかが分かるようにする。</p> <p>イ 身の回りにあるアルファベットの小文字の言い方や、Do you have...?などを用いて、相手の質問を聞くことに慣れ親しんでいる。</p>	<p>ア アルファベットの小文字や友だちが持っているアルファベットについての話を聞いて意味が分かっている。</p>	<p>ア 外国語指導補助手 (ALT) に続いてアルファベットの読み方が発音されるのを聞いて、発音しようとしている。</p> <p>イ アルファベットの小文字や友だちが持っているアルファベットについての話を聞いて意味を理解しようとしている。</p>
話すこと (やり取り)	<p>ウ 身の回りにあるアルファベットの小文字の言い方や、Do you have...?などを用いたやり取りに慣れ親しんでいる。</p>	<p>イ アルファベットの小文字や自分が欲しいアルファベットについての話を伝えている。</p>	<p>ウ アルファベットの小文字や自分が欲しいアルファベットについての話を伝えようとしている。</p>

5 児童の実態

本学年の児童は、外国語を取り入れた朝の会を行っている。日直が外国語で日付、曜日、天気などの確認を行ったり、起立・着席などの指示を出したり、友だち同士で気分を尋ね合ったりしてきた。また、第3学年の外国語活動でも、授業の始めに曜日を尋ねて答えるなどのやり取りを行ってきた。そのため、それらのことについては、概ね習得できている。

外国語の歌やゲームが好きな児童が多く、「ワイワイ Time」は毎回楽しく取り組んでいる。そのため、学習の振り返りでは、外国語活動の授業を好意的に捉えている児童が8割を超えている。

しかし、外国語で友だちとやり取りすることについては、苦手と感じている児童も3割程度いる。「知り Time」でやり取りの仕方を丁寧に指導することと、「やり Time」の途中で Small talk を取り入れることで、望ましいやり取りの姿を共有することを年間通して実践している。

6 研究主題に迫るための手だて

(1) 「主体的に学習に取り組もうとする態度の涵養」に向けて

①児童の意欲を引き出す題材設定

学習指導要領の小学校・中学校・高等学校の目標には、「言語活動を通してコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成していく」ことが示されている。外国語活動においては、外国語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実させることが大切である。そこで、授業において外国語を話す必然性があれば、主体的に取り組めるようになると考えた。本単元では、児童が「やってみたい。」「作ってみたい。」と思うような題材を設定し、目的をもって主体的に取り組めるようにした。

3年	「アルファベットファミリーを紹介しよう」 アルファベットの大文字の形から自分の好きなものを想像し、アルファベットファミリーを作って紹介する活動を設定した。
4年	「アルファベットファミリーを紹介しよう パート2」 アルファベットの小文字の特徴を活かして顔や手などができているキャラクター「こもじい」が単元を通して登場する。児童はその家族「アルファベットファミリー」を作るためにアルファベットを集める活動を設定した。
	本単元のマスコットキャラクターとして使用する。アルファベットの小文字からできている「こもじい」の仲間を作成することを単元のゴールとしている。児童が目的意識をもって意欲的に学習に取り組むための手だての一つとして設定した。
	アルファベットファミリー「ジュイ子」 児童が見通しをもって活動に臨めるように、児童が作成する「アルファベットファミリー」の見本を教員が事前に作成し、児童に示した。

②児童の実態に沿ったゲーム性のある活動

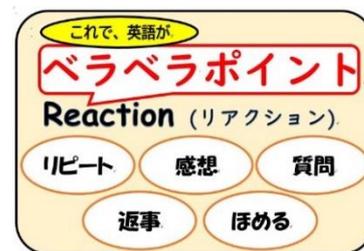
「ワイワイ Time」では、歌やゲームを行い、楽しい雰囲気の中で学習をスタートさせる。また、「やり Time」では、「What's this ゲーム」や「Do you have a ゲーム」を行うなど、児童が楽しみながら言語材料に多く触れ、やり取りできるよう工夫することで、主体的に学習に取り組めるようにする。

(2) 「安心してできるやり取りの工夫」に向けて

①ベラベラポイントの活用

令和2年度の児童向けのアンケートから、普段使っていない外国語を話すことに不安感が強い児童が多いことが分かった。そのため、外国語での言い方が分からない時には、限定的に日本語でやり取りしてよいこととし、自分の考えを伝えることや友だちの考えを聞くことを大切にしたいコミュニケーションを図れるようにする。(例：I like soccer. Because 得点を決めるのが楽しいから。)

また、やり取りの際に大切にしてもらいたいことを、反応例(ベラベラポイント)として提示する。児童同士のやり取りをさらに広げていきたいと考えたときに、例を示すことによって、児童が安心してながら取り組めると考えた。ベラベラポイントでは、相手の言ったことに対して、同じように繰り返したり、自分の感想を述べたり、さらに質問したりしていく。例を参考に、安心してやり取りすることで会話量を増やし、児童の自信につなげていきたい。



② Small talk・ICT 機器を活用した例示

本単元で扱う表現をより習得しやすくするため、Small talk で、指導者(HRT)と外国語指導補助手(ALT)によるやり取りの例を示していく。また、外国語指導補助手(ALT)がいないときには、やり取りの例をスライド等のICT機器を活用し、視覚的に理解しやすいよう示していく。その際に、児童が慣れ親しんでいない、外国語の文字は使用せず、関連するイラストや、記号のみを用いて示していくことにした。

7 単元計画

時	1	2	3	4 (本時)	
Study goal	アルファベットファミリーを紹介しよう。				
Today's goal	アルファベットの小文字読み方を知ろう。	アルファベットの小文字の特徴を知ろう。	材料集めのやり取りで使う言葉を覚えよう。	アルファベットファミリーの材料を集めよう。	
学習活動	Greetings				
	ワイ ワイ Time	Games ・これなんだどこだクイズ(大文字)	Games ・これなんだどこだクイズ(小文字)	Songs 「abc ストレッチ」 Games ・アルファベットニョッキ	Songs 「abc ストレッチ」 Games ・アルファベットニョッキ
	知り Time	Today's Lesson ・Today's goalを確認する。 ・小文字知り Time ・単元のゴールを知る。 ・アルファベットタウンでアルファベットを探す。	Today's Lesson ・Today's goalを確認する。 ・体でアルファベット ・abc ストレッチ 大文字と小文字の形の特徴について考える。	Today's Lesson ・Today's goalを確認する。 ・Let's try2 P.23 ・アルファベットタウンでお店の名前を探し 並べた複数のアルファベットからどの店かを考え探す。	Today's Lesson ・Today's goalを確認する。 ・第3時で復習した既存のキーセンテンスを使ってやり取りをする方法を知る。
	やり Time	Activity ・abc カルタ 3人一組でALTの指示に従ってカルタをする。	Activity ・What's this ゲーム (紙バージョン) 友だちにヒント (形や) をもらいながら自分の背中にあるものが何かを考え当てるゲーム。 ・What's this ゲーム (モールバージョン)	Activity ・Do you have a ゲーム 自分と同じ単語カードを持っている友だちを見付け出し、指導者 (HRT) か外国語指導補助手 (ALT) のところに行って答え合わせをする。	Activity ・アルファベットファミリーの材料集め A チーム カード屋さん B チーム 材料集め ※交代
		振り返り			
		Goodbye Greetings			
評価 (評価方法)	知識 技能	ア (行動観察・ワークシート記述分析)	イ (行動観察・ワークシート記述分析)	ウ (行動観察・ワークシート記述分析)	
	思考 判断 表現			ア (行動観察・ワークシート記述分析)	イ (行動観察・ワークシート記述分析)
	態度	ア (行動観察)	イ (行動観察)		ウ (行動観察)

8 本時（全4時間中の第4時）

(1) 本時の目標

アルファベットファミリーを作るために、自分が欲しいアルファベットについて、相手に配慮しながら伝えたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

(2) 本時の展開

時	学習内容・学習活動	○指導者(HRT)の留意点 ◎外国語指導補助手(ALT)の留意点	評価			
			知技	思判表	態度	評価方法
Greeting	1 Greetings ・あいさつをし、気持ちなど聞かれたことに答える。	○児童の発言に応じて、やり取りをしながら、会話を広げる。 ○児童がやり取りをすることに期待感をもてるように個別のやり取りをするようにする。 ◎児童とあいさつし、天気や日付などの掲示物をポインティングし、児童が答えやすいようにする。				
ワイワイTime	2 Songs 「abcストレッチ」 ・歌に合わせてアルファベットの字形を作りながら踊る。 3 Games 「アルファベットニョッキ」 ・友だちと重ならないようにa～zまで順番に復唱していくゲームに取り組む。	◎vとwの発音は児童が間違えやすいので、ワイワイTimeの冒頭に児童と一緒に発音練習をする。 ◎児童と一緒に、活動に取り組む。 ○アルファベットニョッキをする際にアルファベットの順番を考える手助けとなるよう各にアルファベット表を配布する。				
知りTime	4 Today's Lesson ・Today's goal の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Today's goal アルファベットファミリーの材料を集めよう。</div> ・アルファベットファミリーの材料集めの方法を知る。	○今日のめあてを伝える。 ○アルファベットファミリーの材料を集める方法を伝える。外国語指導補助手(ALT)とデモンストレーションをする。 ○プレゼンテーション資料作成機能を活用して視覚的にやり取りの方法が理解できるようにする。【ICT機器の活用】 ◎指導者(HRT)とアルファベットファミリーの材料を集める方法のデモンストレーションを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【集める人】自分のほしいアルファベットカードを集めに行く。 Do you have a "a"? /2 please. 【カード屋さん】 Yes, I do. /How many "a"? Here you are. No, I don't. 【集める人】貰っても貰えなくても Thank you. ◆自分が欲しいアルファベットの読み方が分からない児童は、ジェスチャーで表現しても良いことを伝える。 ◆困った時にの援助要請の方法も伝えておく。 Hint please. /Help me.</div>				

やり Time	<p>5 Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットファミリーの材料集めをする。 ・カード屋さんとお客さんに分かれて、友だちと前半のやり取りをする。 ・早く材料を集め終わったら、友だちの材料集めを手伝う。 ・よかったポイント等を確認し合う。 ・後半の材料集めを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アルファベット表を持ち歩きながら、話し方がわからず困っている児童に、話し方を伝える。 ◎児童の発音が正しいか確認しながら、個別にアルファベットの発音の見本を示す。 ○キーセンテンスを用いてやり取りをしている児童を称賛し価値付ける。 ○補助の児童が、アルファベットの音だけ教えてあげるように促す。 ○よいやり取りをしていた児童を紹介し、後半の活動に活かせるよう価値付ける。 		イ	ウ	行動 観察 ワーク シート 記述 分析
振り 返り	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 <p>7 Goodbye Greetings</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりのあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りカードの記入を確認しながら数名に発表させて、本時の活動の価値付けをする。 ○朝学習の時間に、集めたアルファベットを使って、葉を作ることを伝える。 ○指導者 (HRT) は児童と外国語指導補助手 (ALT) にあいさつする。 ◎児童とあいさつをする。 				